

全模研の先生方へ

皆さん、いかがお過ごしでしょうか？

先日、第5回 AJEMUN の大使募集も締め切れ、

全国から 70 校以上、約 600 名の参加応募がありました。

先生方の学校からもたくさんご応募いただきありがとうございました。

さて、表題の通り、読売新聞社教育部の記者より、

全模研に取材依頼がありました。

「平和」を主題にしたプログラムの実践を取材したいようです。

私はもちろん AJEMUN を推したのですが、

マクロではなくミクロ視点での「平和」、

要するにダイレクトに「平和」を掲げて活動しているプログラムがお望みのようです。

つきましては、先生方の学校で取材対象になりそうな活動がありましたら、

ぜひご紹介ください。

活動主体は学校でなくても構わないようなので、

お知り合いの NPO やその他団体での活動も範疇に入ります。

終戦記念日に合わせた企画記事のようなので、

8 月上旬までに取材が可能なのが条件のようです。

以下に読売記者からのメールを記載しますので、

ご参考にいただき、

ぜひというプログラムがありましたら、

私、米山までメールにてご連絡ください。

なお、私サイドでは選抜等を行わず、

いただいた情報は全てそのまま先方に流すので、

仮に取材対象から漏れたとしても恨まないでください（笑）

ご面倒をおかけしますが、

★★全模研の先生方への呼びかけの件、お願いします。

①自治体ぐるみでの活動、②有志の学校間の取り組み、

③個別の学校内の行事や授業としての実践――

など、様々あるかもしれませんが、

8 月上旬までに取材できそうなタイミングがあれば、有難いです。

形式としては、「模擬国連」と銘打っていないでも、

リアリティーのある形で「平和の構築、維持」について議論している、

また「SDGs の目標 16（平和）」に合致している――

といった内容であれば、あわせてご教示ください。

ご紹介いただきましたら、先方と内容を確認し取材が可能か確認します。

以上、よろしく申し上げます。

米山